

なぜ私たちは働くのかを考える

—なぜ私たちは勉強し、体を鍛え、社会に出る準備をし、やがて仕事に就くのか—

経済同友会 会員
林 明 夫

Q1：最初に自己紹介を兼ねて中学校・高校時代に好きだったことばを教えてください。

A：たくさんあります。

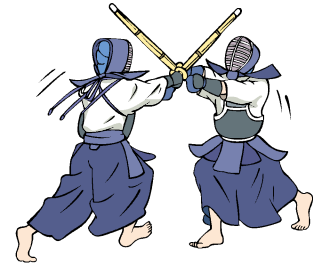
(1)「ブルドッグ魂(食いついたら離すな)」

(2)「練習で泣いて、試合で笑え」

(3)「学問に王道なし」— There is no royal road to learning —

(4)「同じ失敗は2回しない」

(5)「一所懸命(一つの所で命を懸けるくらい熱心なものごとに取り組もう)」



Q2：今までにどんな仕事をしたことがありますか。また、今はどんな仕事をしていますか。

A：(1) マニー株式会社(手術用縫合針製造。宇都宮市に本社、ハノイ、ヤンゴン、ビエンチャンに現地法人) 社外取締役(2004～2010年)、現在は顧問

(2) 特別養護老人ホーム 清明苑 理事(足利市)

(3) 有朋高等学院 理事長(福島市)

(4) 宇都宮大学大学院工学研究科 客員教授

(5) 開倫塾 塾長(栃木県、群馬県、茨城県)



* CRT 栃木放送でラジオ番組「開倫塾の時間」を27年間担当。(毎週土曜日 9:15～9:25)

Q3：仕事とは何ですか。

A：(1)すべての仕事には、お客様がいます

(2)仕事とは、お客様のお役に立つこと

(3)お役に立つとは、お客様の問題を解決すること

(4)仕事とは、お客様の問題を解決することで、社会の問題を解決すること。社会の問題を解決することで、社会のお役に立つこと

(5)すべての企業や組織には、仕事を始めた理由、創業の理念があります。組織の目的、社会的使命があります。

(6)仕事、企業を続ける上で大切なのは、「高い志こころざし」、「持続する志」です。「初心忘るべからず」が大事です。

Q 4 : 人は何のために働くのですか。

- A : (1) お客様のお役に立つため
- (2) お客様のお役に立つことで社会のお役に立つため
- (3) 生活できるだけの収入を得るため
- (4) 仕事を通してよく生きるため(自己実現)



Q 5 : 人は何のために学ぶのですか。

- A : (1) 「人生における^{せんだくし}選択肢」を増やすため—「^{たよう}多様な選択肢のある人生」を実現するため—
- (2) 「よく生きる」ため

Q 6 : 中学校での勉強は社会で役に立ちますか。仕事をするときに役に立ちますか。

- A : (1) 小学校、中学校、高校での勉強はすべて社会に出て役に立ちます。役に立たない教科・科目は一つもありません。各科目がどのように役立つか、少しずつ考えてみましょう。
- (2) 小学校、中学校、高校の教科外の教育活動もすべて社会に出て役に立ちます。役に立たないことは一つもありません。一つ一つの学校での活動がどのように役立つか、少しずつ考えてみましょう。
- (3) ですから、学校での教科の学習には全科目ともしっかりと取り組んでください。学校でのすべての教育活動にも積極的に参加してくださいね。
- (4) 小学校、中学校、高校の教科書は捨てないですべて保管し、上の学校に進学してからも、社会に出てからも先生の授業を思い出しながら繰り返し勉強し直してくださいね。一生役に立つのが学校の教科書ですよ。(辞書やノート、ルールブックなどの教材も捨てないこと)
- (5) 仕事は「メモ」(ノート)で身に着けます。メモ(ノート)が取れること、メモ(ノート)が活用できることが大切です。「メモ」(ノート)が取れることは大切な能力です。
- (6) 5S(ごえす)…「^{せいり}整理」(不要なものは捨てる)、「^{せいそう}清掃」、「^{せいとん}整頓」(ものは決まったところに置く)、「清潔」、「^{せむ}躰」(他人から言われなくても、自分から進んで行く)は仕事の基本です。

Q 7 : 学力を向上させる^{ひけつ}秘訣は何ですか。

- A : (1) 「自覚」をもって勉強すること
- (2) 「自分なりの勉強(学習)の仕方」を身に着けること
- ① 「理解」…うんなるほどとよくわかること
- (ア) 辞書を用いて「予習」をすること
- (イ) 「学校の授業」をきちんと受けること
- (ウ) 「ノート」を取ること。「ノート整理」をすること

* 「何のために勉強するのか」

「何のために生きるのか」

- ・ 高校に進学して何をするのか
 - ・ 社会に出て何をしたいのか
 - ・ どのような人生を送りたいのか
- などを自分の力で考え、ことばとしてまとめ、ノートなどに書き、時々読み直すこと

②「定着」…一度「理解」した教科書や問題集、授業中のノートなどを「身に着ける」こと
(ア)「音読練習」…全科目の教科書やノートなどをスラスラとよく読めるようになるまで何回も繰り返して大きな声を出して読むこと

(イ)「書き取り練習」…全科目、教科書の書体(楷書)で正確に書けるように練習すること

(ウ)「計算・問題練習」…パツ、パツ、パツと正解が出るまで何回も解くこと

③「応用」…合格点が取れること、社会で役に立てること

(ア)その試験で過去に出た問題(過去問)の何回か分を自分の力で何回か解いてみる

(イ)間違えた問題をノートにまとめて繰り返し学習する

—「間違いノートづくり」と「まとめノートづくり」を—

(3)「読書により思慮深さ」を身に着ける(読書は時空を超えた作者との対話)
—「書き抜き読書ノート」を—

*「新聞を毎日読み、自分で考える力、批判的思考能力」を身に着ける
—「新聞切り抜き帳(スクラップブック)」を—



*学校の図書室、足立区や東京都、各大学などの図書館などで、本や新聞をたくさん読もう

Q 8 : 最後に一言どうぞ。

A : (1)中学校時代の友達是一生の友達、先生は一生の恩師。少しずつ友情を育もう

(2)中学生、高校生として大切なのは、「自己責任」「自助努力」「自分の未来は自分で切り開く」「あきらめたらおしまい」という考え。「自律的に行動する能力」(自分自身を律する力)
*ケータイ、スマホ、ゲーム、TV はほどほどに。他人の悪口はできるだけ口にしないこと

(3)コンピュータのスキル(ワード、エクセルの学習を。タッチタイピングも)

(4)英語の4つのスキルも(読む、聞く、書く、話す)

(5)最後に私の好きなことばをもう少し

①「会った人は皆友達」(よいところを探すこと)

②「目には遠いが心は近い」

③「教育ある人とは一生学び続ける人」

④「練習は不可能を可能にする」「フェアプレー」「よき友」

⑤「一生勉強、一生青春」

⑥「健康第一(身体の健康、心の健康)」

⑦ If you can dream, you can do it!

—もしあなたが夢を見ることができれば、あなたはそれをする事ができる—

感謝

*皆様の好きなことばは何ですか。好きなことばがあったら教えてください。

*御清聴ありがとうございました。御質問、御意見、御感想などがありましたら、御自由に御発言ください。

